

## 平成27年度重点メニュー振り返り

環保協では、公衛協活動の支援策として、環境づくり・健康づくり活動メニューの提案を行っています。平成27年度に展開した「全県共通事業重点メニュー」の成果を紹介します。

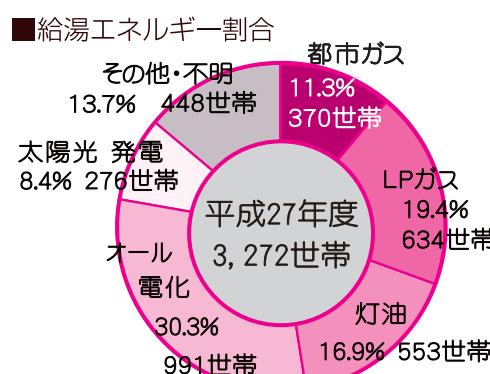
全県共通事業重点メニューとは、市町公衛協単位だけでなく支部・地区・学区公衛協で実践できるプログラムであり、積極的に地域の公衆衛生活動に取り入れていただきたい事業です。また、重点メニューには活動支援グッズがあり、この支援グッズは環境・健康募金の環保協配分金で作製しているため、これらを活用することで募金事業への理解も促しています。

### 1万人のエコチェック事業

■申請者数・実践者数  
広島県内公衆衛生推進委員  
9,274人(広島市除く)  
申請者数: 8,453人 実践者数: 3,369人

■電気使用量が集計可能なデータ  
3,272データ

- ・オール電化戸建て住宅の  
平均使用量 571kWh
- ・オール電化以外の戸建て住宅の  
平均使用量 356kWh



県内約1万人の公衆衛生推進委員を対象に、家庭で消費されるエネルギーの削減運動を展開する事業で、平成22年度から継続しています。

内容は、9月の検針日までの約1ヶ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、その効果を数値的に「見えます。

成27年度は、実践率50%をめざす「基本編」と、50%を達成した公衛協が更なる展開をめざす「ステップアップ編」を設定して取り組みました。

平成27年度も昨年度に引き続き全公衛協が事業に参加し、実践率36.3%で、前年比0.9%増加しました。新たに設定したステップアップ編に挑戦し、実践率が低下する事例も見られました。

次世代に住みよい環境を残すこと、継続して自然の恩恵を享受できること、地域清掃・美化・水質改善・保全、里地里山づくりの3つのテーマの取り組みを支援するもので、平成23年度から継続しています。

### ●「1万人のエコチェック事業

#### ステップアップ編を設定

る化するものです。平成27年度は、実践率50%をめざす「基本編」

が課題です。内容の深化のバランスが課題です。

### ●「公衛協発ひろしまに参加

●「公衛協発ひろしまに参加」は、引継ぎや新規に実施する活動を支援する2つのコースがあり、環境点検や史跡、アドプト空間をコースに盛り込み、チェックポイントなどを準備することで、公衛協が事業を展開することができます。「公衛協発ひろしまに参加」は、引継ぎや新規に実施する活動を支援する2つのコースがあり、環境点検や史跡、アドプト空間をコースに盛り込み、チェックポイントなどを準備することで、公衛協が事業を展開することができます。「公衛協発ひろしまに参加」は、引継ぎや新規に実施する活動を支援する2つのコースがあり、環境点検や史跡、アドプト空間をコースに盛り込み、チェックポイントなどを準備することで、公衛協が事業を展開することができます。

### 1万人の食チェック事業

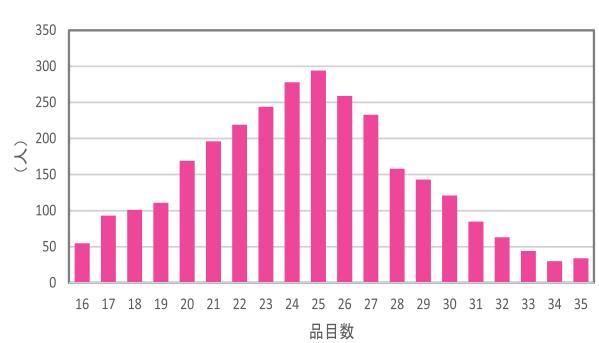
■申請者数・実践者数  
広島県内公衆衛生推進委員  
9,274人(広島市除く)  
申請者数: 8,371人 実践者数: 3,101人

#### 食品数の傾向

最も割合が多いのは、平均で25品目/日(9.2%)次いで24品目(8.7%)、26品目(8.1%)

■平均摂取食品数が20品目/日以上の人  
83.5%(2,674人/3,202人)

※目標摂取食品数 30品目/日以上  
(1985年厚生省「健康づくりの食生活指針」)



### TEAM活動視察交流事業

## 気軽に楽しめるテーマで元気な町づくり

### 「リメイクグッズ作り体験交流会」



オリジナルリメイク作品を見学する参加者

事業で、実践率3%上昇が食生活の傾向を知り、健康づくりにつなげることをねらいとする事業で、平成23年度から継続しています。

#### 事業

呼びかけや回収方法の工夫で実践率3%上昇

事業内容は、チエックカードに記録するもので、実践率50%をめざす

平成27年度は実践率33.4%で、前年度より3.2%増加しました。

実践者の1日あたりの

脱温暖化センターへ

実践率33.4%で、前年度より3.2%増加しました。

実践者の1日あたりの

脱温暖化センターエントリーカードに記録するもので、実践率50%をめざす

平成27年度は実践率33.4%で、前年度より3.2%増加しました。

実践者の1日あたりの

脱温暖化センターエントリーカードに記録するもので、実践率50%をめざす

平成28年度は、事業の目的やチエックの方法を分かりやすくし、実践率のさらなる向上を図ります。

平成28年度は、事業の目的やチエックの方法を分かりやすくし、実践率のさらなる向上を図ります。

既存のウォーキング事業を支援するコースと、新規に実施する活動を支援する2つのコースがあり、環境点検や史跡、アドプト空間をコースに盛り込み、チェックポイントなどを準備することで、公衛協が事業を展開することができます。

これまでの活動実績は、当協会ホームページに掲載されています。平成28年

度の重点メニューは、引き続き同じ事業を展開しますが、一部内容を修正しています。「公衛協の広場」から各事業の広場から各事業の実施要領をご確認いただけます。

これまでの活動実績は、当協会ホームページに掲載されています。平成28年

で活動する「脱温暖化プロジェクトせらり体験交流会」に16取り組んでいます。3月17日、世羅町で活動する「脱温暖化プロジェクトせらり体験交流会」に16

脱温暖化プロジェクトせらり体験交流会当日は、脱温化プロジェクトせらり手芸好きな会員による指導のもと、町民から提供してもらった着物を使って「せなばんこ(背中を温める薄いタイ

人)が参加しました。交流会当日は、脱温化プロジェクトせらり手芸好きな会員による指導のもと、町民から提供してもらった着物を使って「せなばんこ(背中を温める薄いタイ

人)が参加しました。交流会当日は、脱温化プロジェクトせらり手芸好きな会員による指導のもと、町民から提供してもらった着物を使って「せなばんこ(背中を温める薄いタイ

人)が参加しました。交流会当日は、脱温化プロジェクトせらり手芸好きな会員による指導のもと、町民から提供してもらった着物を使って「せなばんこ(背中を温める薄いタイ

人)が参加しました。交流会当日は、脱温化プロジェクトせらり手芸好きな会員による指導のもと、町民から提供してもらった着物を使って「せなばんこ(背中を温める薄いタイ

人)が参加しました。交流会当日は、脱温化プロジェクトせらり手芸好きな会員による指導のもと、町民から提供してもらった着物を使って「せなばんこ(背中を温める薄いタイ

人)が参考になりました」などの声が聞かれました。午後からは、会員の皆さんに制作したオリジナルリメイク作品を見学し、作り方を教わったり、連絡先を交換するなど、活発な交流が行われました。その後の

意見交換でも意見が飛び交い、大いに盛り上がりました。参加者からは、「地域や行政と連携した事業の仕組みが参考になつた。早速、行政に伝えて協力を仰ぎたい」「取り組みやすいテーマで、脱温化プロジェクトせらり手芸好きな会員による指導のもと、町民から提供してもらった着物を使って「せなばんこ(背中を温める薄いタイ

意見交換でも意見が飛び交い、大いに盛り上がりました。参加者からは、「地域や行政と連携した事業の仕組みが参考になつた。早速、行政に伝えて協力を仰ぎたい」「取り組みやすいテーマで、脱温化プロジェクトせらり手芸好きな会員による指導のもと、町民から提供してもらった着物を使って「せなばんこ(背中を温める薄いタイ

意見交換でも意見が飛び交い、大いに盛り上がりました。参加者からは、「地域や行政と連携した事業の仕組みが参考になつた。早速、行政に伝えて協力を仰ぎたい」「取り組みやすいテーマで、脱温化プロジェクトせらり手芸好きな会員による指導のもと、町民から提供してもらった着物を使って「せなばんこ(背中を温める薄いタイ